ペリー来航から37年間に渡って記された武蔵国橘樹郡長尾村（川崎市多摩区・宮前区）の「鈴木藤助日記」を中心に、近世から近代へ移り変わっていく時代をひとつの村の動きを通して紹介します。

コレクション展

藤助（とうすけ）さんと幕末

2024 2|17（土）→3|24（日）

A farmer's diary at the end of the Edo period

神奈川県立歴史博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

【同時開催】
令和５年度
かながわの遺跡展「華ひらく律令の世界」
2024年 2月3日（土）～3月6日（水）

【関連行事】◎は事前申込制、申込多数の場合は抽選

□学芸員による展示解説（先着60名・申込不要）
2月24日、3月2日、9日、16日（すべて土）13時30分～14時　会場：当館講堂　参加費：無料

◎連続古文書講座（全3回）「藤助日記を読む」
2月25日、3月3日、3月10日（すべて日）各回14時～15時30分
講師：寺西 明子（当館学芸員）、根本 佐智子（当館非常勤学芸員）
会場：当館講堂
定員：45名（1回ごとの申込も受け付けますが、連続講座のため全3回申込の方を優先します。）
受講料：無料（ただし、当日の常設展観覧券が必要）　申込締切：2月6日（火）必着

◎講演会「村に残る日記から何がわかるか―地方から見る近世・近代産業の転換―」
3月17日（日）13時30分～15時30分
講師：菊地 悠介 氏（川崎市市民ミュージアム主任学芸員）、寺西 明子（当館学芸員）
会場：当館講堂　定員：60名　受講料：無料（ただし、当日の常設展観覧券が必要）
申込締切：2月20日（火）必着

「往復はがき」に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・行事名を全て明記のうえ、当館へお送りください。
または、ホームページの「催し物案内」からお申し込み下さい。
1件で複数名（最大4名まで）申し込まれる場合は全員分の氏名を明記してください。
（1件で複数の催し物の申込はできません。催し物毎にお申し込みください。）
※同一人からの複数の申込は、1件として扱います。
※催し物は変更・中止になる場合があります。詳細はホームページをご覧ください。

【主催】神奈川県立歴史博物館　【協力】川崎市市民ミュージアム、鈴木藤助日記研究会

開館時間　9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休館日　毎週月曜日、2月27日（火）、3月12日（火）、3月21日（木）
会場　コレクション展示室
観覧料　無料
交通　みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分
JR「桜木町駅」新南口（ICカード専用）から徒歩5分
市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分

〒231-0006　横浜市中区南仲通5-60
TEL 045-201-0926　FAX 045-201-7364

鈴木快輔家資料　嘉永6年6月「日記　初巻」